

ファッション
One Point
アドバイス

春チークはファッション
アイテムにも使える

春に色目が変わるといったら、チークを変える人は多いはず。色々なブランドから、持ち歩いて可愛い、そしてチャームとしてバッグに付けてもお洒落なチークが発売されていますので、注目商品をご紹介します。



まずは、レ・メルヴェイユーズ ラデュレから、限定商品としてミニフェイスカラートリオ、クリームチークベース。特に、クリームチークベースは、エッグスタンドのようで、お部屋のインテリアにしても OK。ガーリースタイルの定番、シルスチュアートは、レイヤーブラッシュコンパクト。刻印デザインはスイート感満載で、全5色中1色が限定色というラインナップです。容器がポップで可愛いボール&ジョーのチークカラーは、これまでのフェイスカラーがチークカラーとしてリニューアルされて10種類という充実ぶりで発売されました。容器は白のレリーフ作りで愛らしい。限定品のプレストパウダーとアイカラーの容器デザインは3種類のファブリック（子猫、象、クローバー）。一押しは、アイカラーのカラーセルをかたどったラブリーな絵。使うたびに、心躍ること請け合いです。そして、コフレドールのスマイルアップチークスの限定品は透明な容器ですから、中のチークが立体的にカメラをかたどっているその可憐な花を堪能できます。

Copyright FCG Research Institute, Inc.
No reproduction or republication without written permission.

絵画の中の洗濯風景

アルルの洗濯する女たち



ポール・ゴーギャン作（1888年）

ポール・ゴーギャン（1848～1903年）は、ファン・ゴッホとの共同生活の後、1891年から南太平洋のタヒチ島に移り住みました。タヒチに移り住んだ動機として、人工的なヨーロッパ文明から脱出することであったとされています。タヒチでは、自然の中の純朴な人々の営みを描き、代表作である「タヒチの女（浜辺にて）」など数多くの作品を残しており、日本でもファンの多い画家です。

この作品は、南フランスのアルル地方にあったゴッホの家に住み始めたばかりの頃に描かれたものです。タヒチ以前の作品ですが、ここに描かれているのは明るいグリーンのオリーブの木々を遠景として、女たちが無心に洗濯する姿です。そこには、近代都市パリから移り住んで目にするアルル地方の素朴な人々への愛情が感じられます。

川辺で洗濯する4人の女性は、川面に張り出させた大きな板の上に洗濯物をのせて、体を前後に動かしながら無心にゴシゴシと洗っているようです。

HD NEWS 2020年3月30日(隔月)発行 第16巻第2号通巻90号

暮らし応援ニュースレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 90



ファッション・ワンポイント: 春チークはファッションアイテムにも使える
絵画の中の洗濯風景: アルルの洗濯する女たち
衣類のケア講座: ドライクリーニングがウールに適しているわけ
衣生活の知恵: 消毒液がつかないように注意して!

まごころクリーニング
ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



衣類のケア講座



ドライクリーニングがウールに適しているわけ

●ウールに着いた花粉などは落ちにくい

環境省の「花粉症環境保健マニュアル 2009」によると、ウールは綿繊維に比較して約 10 倍も花粉を付着させるとされています。

ウール繊維には非常に細かい縮れがあり、繊維の表面は魚のウロコのような形状をしています。このために、生地は複雑な構造になり、花粉やホコリなどの不溶性の粒状物質は奥に入り込むと、取り出しにくくなってしまいます。

花粉症環境保健マニュアル 2009（環境省）資料

素 材	付着花粉率
ウ ー ル	980
化 織	180
絹	150
綿	100

綿を100とした時の比率

*この表で「化織」とあるのは繊維名称ではありません。ここでは合成繊維ポリエステルの意味だろと思われる。(編集部)

●ゴシゴシ洗えば縮んだり変形したり

生地の中に絡みついた花粉やホコリまで洗い出そうとすれば、揉んだり叩いたりするなどの力を加えなければなりません。しかし、ウール製品を水洗いする場合は、🧤（手洗い表示）とされています。「手洗い」のJIS規格では、「押し洗い」「つまみ洗い」とされています。揉んだり叩いたりすると、ウール繊維の性質から、「フェルト化」といわれる縮んでしまう現象が起きてしまうからです。



ゴシゴシ水洗いするとウールは縮む（フェルト化収縮）

●ドライクリーニングは花粉などを叩き出す

ドライクリーニングは、石油などの有機溶剤というもので洗います。ウール繊維は、有機溶剤の中で叩き洗いしても縮むことはありません。ですから、生地の中に絡まっている花粉などの不溶性の粒子まで落とすことができるのです。ウォッシュャブルウールというものもありますが、これは、ウール本来の性質を変えたもので、自然な風合いや吸湿発散性などの優れた性質を損なってしまいます。



左は自然なウール繊維 右はウォッシュャブル加工の例



消毒液がつかないように注意して!



感染症の流行などで、消毒液を使う機会が多いようですが、衣類の変色の原因になることがありますので注意しましょう。

病院はもちろんスーパーマーケットなどにも手を消毒するための消毒液が配置されています。この消毒液は、無色で清涼感があるエタノール類が使われています。エタノールは消毒のほかにも、病院では布類に付着したヨードチンキ類の脱色にも使用されています。特にアセテートの染料を脱色することが知られています。

また、什器などは、塩素系漂白剤を希釈した水溶液で拭くと強い消毒効果がありますが、本来は漂白剤として使われているものですから、特に綿製品などに付着しないように注意しましょう。